



【韓国】 総合指数は週間で 3.3%高と 4 週続伸、今週は高値警戒感が重しか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 3.3%高と 4 週続伸。9 月末から続いた大型連休が明け、先週に入って指数は上昇が加速した。10 日は連休中の米国やアジア市場が総じて堅調に推移したことを受け、出遅れ感を意識した買いが幅広い銘柄に入り、2 カ月半ぶりの高値を付けた。北朝鮮の新たな挑発行為が見られないことも相場上昇を支えた。11-12 日は上場企業の 7-9 月期決算速報の発表が始まり、業績改善への期待からハイテク企業などが買われ、連日で過去最高値を更新。ただ、13 日は前日の米株安が重しになったほか、新たな手掛かり材料に欠ける中、主力ハイテク株に利益確定売りが出て、小幅に反落して取引を終えている。今週は高値警戒感に加え、中国の GDP など経済指標発表を控えた様子見気分が重しになるか。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は週間で 2.0%高と反発、今週は利益確定売り優勢か

先週の動き／今週の展望

RTS 指数は週間で 2.0%高と反発。前週末に急落した原油価格が上昇に転じる中、じり高の展開が続く、週後半に先週高値を上回った。IMF が 10 日に発表した世界経済見通しで、ロシアの今年の予想成長率を 1.8% (前回: 1.4%)、来年を 1.6% (前回: 1.4%) に上方修正したことも支援材料。前週末の原油価格急落の要因であった米国での熱帯低気圧の被害が、懸念されたほどではなかった点も好感された。週後半は、OPEC が 2018 年需要見通しを引き上げたことや、中国が発表した 9 月の原油輸入量が過去 2 番目の高水準となったことを背景にブレント原油は 13 日に 57.57 ドルまで上昇。これを受け RTS 指数も連れ高し、13 日は前日比 1.1%高の 1156.64 ドルと週の高値で取引を終えた。今週は利益確定売り優勢か。

▼指数チャート



【ベトナム】 VN 指数は週間で 1.6%高と続伸、今週は高値警戒の中で堅調持続か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 1.6%高と続伸。前週に反発した流れを引き継ぎ、堅調な推移が続いた。経済見通しや経済統計がいずれも好調だった。HSBC がベトナムの通期 GDP 成長率見通しを 6.0%から 6.6%に引き上げたことなどを好感し、VN 指数は週明けからプラス圏で推移。前週から 6 営業日続伸し、6 週連続で 2008 年 2 月以来の高値を更新した。ベトナム国家金融監督委員会 (NFSC) が、海外からベトナム証券市場への投資が 1-9 月期に前年同期比 80%増の 14 億 5000 万ドルに達したと発表したことも支援材料。12 日は中央銀行が年末までの金融政策として商業銀行に金利引き下げを求めると報じられ、指数は 13 日に前日比 0.6%高の 820.95 ポイントの高値引けで週の取引を終えた。今週は高値警戒もあるが、堅調持続か。

▼指数チャート



【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.3%高、今週は 9 月の貿易統計が焦点

ジャカルタ総合指数は週間で 0.3%高と続伸。週央の下落を除き、おおむね堅調に推移した。週初の 9 日は 8 月の小売売上高が前年同月比 2.2%増と、マイナス成長だった前月からプラス圏に回復したことが好感されて指数は続伸。11 日は通信株が値下がりして終値ベースで約 2 週間ぶりに 5900 ポイントを割り込んだが、12 日は金融株の一角が買われて反発した。今週は 16 日発表の 9 月の貿易統計に対する市場の反応が焦点になるほか、19 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。中銀は前月まで 2 会合連続で利下げに踏み切ったものの、今後の追加利下げについては消極的な見方を示している。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.8%高、7-9 月期の GDP 成長率は 4.6%

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.8%高と続伸。週後半の上昇が奏功した。9 日は前週末からほぼ横ばいだったものの、その後は買い材料に乏しく 11 日まで続落。一方、12 日は前日の NY ダウが過去最高値を更新したことに加え、翌日に発表を控えた 7-9 月期の GDP 速報値について、市場で楽観的な見方が広がったことを受けて反発した。13 日は GDP 成長率が前年同期比 4.6%と市場予想の 3.8%から上振れした効果で続伸して取引を終えた。今週は 17 日に 9 月の非石油地場輸出が発表される予定で、前年同月比の増加率は前月に続き 2 桁になるとの見方が優勢。18 日はディーパバリ（光の祭典）の祝日で休場。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.0%高、総選挙実施の発表を好感

SET 指数は 4 日間の取引で 1.0%高と 3 週続伸。総選挙実施への期待が指数を押し上げた。9 日は国際民間航空機関がタイの航空当局に対して 15 年に指摘していた安全問題が解消され、制限対象となっていた一部の事業が再開される見通しとなったことを受けて航空関連株が値上がりしたものの指数は 3 営業日ぶりに反落。一方で 10 日はプラユット暫定首相が 18 年 11 月に総選挙を実施すると発表したことが好感されて反発し、終値で 23 年 9 カ月ぶりに 1700 ポイントに達した。その後は 12 日まで終始この水準を維持して取引を終了。今週は国内の重要イベントが少ない中、前週の勢いが継続するかが焦点になる。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.5%安、今週は 20 日に 9 月の CPI 発表

クアラルンプール総合指数は週間で 0.5%安と反落。小幅なレンジでの値動きが続いた。週初の 9 日は前週末からほぼ横ばいでスタート。ただ、10 日に反落すると、11 日は FRB による FOMC 議事要旨の公表を目前に控えた様子見で売られた。12 日は 8 月の鉱工業生産が前年同月比 6.8%増と市場予想から上振れしたものの買い材料にならず 3 日続落。13 日は、ホンリオン銀行やブリティッシュ・アメリカン・タバコ (BAT) といった大型株が値上がりし、小幅に反発して引けた。今週は 20 日に 9 月の CPI が発表される予定で、前年同月比の上昇率の市場予想は 4.1%。18 日はディーパバリの祝日で休場となる。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。